

取手館の建築模型から取手の美術館のこれからを考える。

ゲスト

ヨコミゾマコト（東京藝術大学美術学部建築科教授）

石山友美（東京藝術大学美術学部先端芸術表現科准教授）

西澤徹夫（京都工芸繊維大学特任教授／西澤徹夫建築事務所主宰）

司会

大内伸輔（東京藝術大学大学美術館特任准教授）

日程 11月15日（土） 14:00～15:00

会場 藝大食堂（取手キャンパス内）

定員 50名（予約不要）

取手館の建築模型から取手の美術館のこれからを考える。

取手の藝大美術館の可能性を、建築の観点から探るトークプログラムを開催します。1994 年竣工の取手館（六角鬼丈設計）と 2024 年竣工の取手収蔵棟（ヨコミゾマコト設計）。設計当初の増築構想が反映された取手館の模型を参照し、取手の藝大美術館の可能性について語ります。

トークゲスト



ヨコミゾマコト

1962 年神奈川県生まれ。1984 年東京藝術大学美術学部建築科卒業、1986 年同大学院修士課程修了。伊東豊雄建築設計事務所を経て 2001 年一級建築士事務所 aat+ ヨコミゾマコト建築設計事務所開設。2009 年東京藝術大学美術学部建築科准教授、2015 年より同教授。aat+ ヨコミゾマコト建築設計事務所として取手収蔵棟の設計を担当。



西澤徹夫

1974 年京都府生まれ。2000 年東京藝術大学大学院修士課程修了後、2000-2005 年青木淳建築計画事務所勤務。ルイヴィトン銀座店、青森県立美術館 基本・実施設計・監理を担当し、2007 年に西澤徹夫建築事務所開設。2023 年より京都工芸繊維大学特任教授。取手館の設計者である六角鬼丈の研究室出身。



石山友美

1979 年東京都生まれ。日本女子大学家政学部住居学科卒業。磯崎新アトリエ勤務を経て渡米。カリフォルニア大学バークレイ校大学院、ニューヨーク市立大学大学院で建築、芸術論、社会理論を学ぶ。ニューヨーク市立大学大学院都市デザイン学研究科修士課程修了。2025 年より東京藝術大学美術学部先端芸術表現科准教授。建築作品の記録映像をライフワークとし、今年度の授業で取手館を記録映像の題材として採用。

司会：大内伸輔（東京藝術大学大学美術館特任准教授）

取手収蔵棟竣工記念・取手館開館 30 周年記念

藝大取手コレクション展 2025

会場：東京藝術大学大学美術館 取手館 多目的ホール

会期：2025 年 11 月 13 日（木）～11 月 30 日（日）

休館日：11 月 17 日（月）、18 日（火）、25（火）

観覧料：無料

主催：東京藝術大学、取手市

助成：公益財団法人野村財団、藝大フレンズ賛助金



藤田謙《「始まり」と「終り」》平成 8 年 (1996) 東京藝術大学蔵
チラシデザイン：岡崎未樹